

練馬区

学ぼう！

ユニバーサルデザイン

STEP1



はじめる

学ぼう！ユニバーサルデザイン

私たちのまちには、年齢や性別、国籍、体の状態などが違うさまざまな人が暮らしています。この「学ぼう！ユニバーサルデザイン」は、さまざまな問題を解きながらユニバーサルデザインについて学ぶことのできる教材です。

ユニバーサルデザインを学ぶことは、多様性への気づきや、自分とは違う立場の人のことを考えるきっかけになります。

自分にどんなことができるのかを考えながら問題に挑戦してみましょう。

■ 教材の流れ

- ① 次ページ以降では、ユニバーサルデザインに関する説明が出てきます。ぜひ、読んで考えを深めてみましょう。
- ② 途中、3択式の問題が出題されます。問題を読み、3つの選択肢の中から正解だと思うものを選んでください。
- ③ 次のページでは、正解と解説を読むことができます。

※ 問題は全部で6問です。

次へ進む

問題① バリアフリーとユニバーサルデザインの違い

みなさんも身近によく聞くバリアフリー。

それでは、バリアフリーとユニバーサルデザインの違いは何でしょうか。

合っているものを選んでください。

A. バリアフリーは施設や人への接し方に対しての取り組みのこと、
ユニバーサルデザインは情報や商品に対しての取り組みのこと

B. 国によっての呼び方の違い

C. バリアフリーは高齢者や障害者といった特定の人を対象になっているのに対して、
ユニバーサルデザインはすべての人が対象

A

B

C

問題① バリアフリーとユニバーサルデザインの違い

正解は ... **C** ユニバーサルデザインはすべての人が対象

特定の人 バリアフリー

高齢者や障害者が社会生活を送るうえで、障壁（バリア）となるものを取り除く



すべての人 ユニバーサルデザイン

年齢や性別、障害の有無等に関わらず、できるだけ多くの人々が利用しやすいこと



バリアフリーは高齢者や障害者などの特定の人々が対象となっているのに対して、ユニバーサルデザインは『すべての人』が対象です。たとえば、けがや病気で体が不自由になったり、外国に行ったとき、言葉が通じなくて困ったりすることがあります。このように、さまざまな状況の人がいて、自分や周りの人も困る状況になるかもしれないということを前提に、年齢や障害の有無、体格、性別、国籍などに関わらず、より多くの人々が利用しやすい製品や環境、考え方をすることがユニバーサルデザインの大きな特徴です。

次の問題へ

問題② ユニバーサルデザインはなぜ誕生したのか？

『すべての人』が対象となったユニバーサルデザイン。
では、ユニバーサルデザインはなぜ誕生したのでしょうか。
合っているものを選んでください。

A. 障害者に配慮しない建築物が多く建ってしまったから

B. バリアフリーの考え方が人々にまったく浸透しなかったから

C. 環境問題の配慮として誕生した

A

B

C

問題② ユニバーサルデザインはなぜ誕生したのか？

正解は ... **A** 障害者に配慮しない建築物が多く建ってしまったから

ユニバーサルデザインの誕生

ユニバーサルデザインは、アメリカのノースカロライナ州立大学のロナルド・メイス博士が提唱したのが始まりです。その背景には、1990年にアメリカの法律『ADA法（Americans with Disability Act / 障害をもつアメリカ人法）』の制定がありました。

この法律は、障害者が利用しにくい施設を「差別的」として、広範囲に障害者の権利を保護しようとしたものです。

しかし、この法律をかいくぐって、法律は守っているが、障害者に配慮していないといった建築物が発生してしまいました。また、バリアフリーを意識しすぎて、障害者や高齢者ではない人が使いづらい建築物も多く発生しました。だったら最初から、『すべての人』にとって使いやすいものを作ればよいという考えから、ユニバーサルデザインが誕生しました。

次へ進む

ユニバーサルデザインの7原則

ロナルド・メイス博士は、ユニバーサルデザインについて、7つの決まりごとを定めています。

1

だれにでも公平に
利用できること



2

使いやすい方を
選んで使えること



3

使い方が簡単で、
すぐにわかること



4

必要な情報がすぐに
理解できること



5

うっかりミスや危険に
つながらないこと



6

身体への負担が
少ないこと



7

十分な大きさ、
スペースがあること



ユニバーサルデザインは、障害者を含む、すべての人が同じものやサービスを同じように使えるよう、デザインするという考え方なのです。

次の問題へ

問題③ まちの中のユニバーサルデザイン

みなさんの身近な場所にある多くのものに、ユニバーサルデザインの考え方が反映されています。以下の選択肢の中から、ユニバーサルデザインの工夫として合っているものを選んでください。

A. 段差を低くしている

B. 階段昇降機が設置されている

C. 高さの違う2本の手すりが設置されている

A

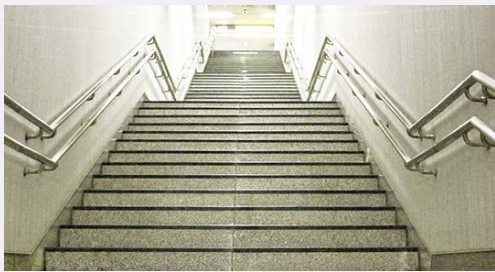
B

C

問題③ まちの中のユニバーサルデザイン

正解は ... **C** 高さの違う2本の手すりが設置されている

まちの中でよく目にする、2本並行して取り付けられている手すりは、多くの大人にちょうどいい高さの手すりと、子どもや高齢者が使いやすい低めの手すりになっています。他にも、手すりにはさまざまなユニバーサルデザインの工夫を見つけることができます。



手すりが高い位置と低い位置にあり、2本平行して取り付けられている



地面と平行になる部分まで手すりが伸びていることで、誰でも安全に階段を上り下りできる



手すりが波のようになっていることで、平行の部分ができ、体が支えやすくなっている

他にも、エレベーターや駅の案内サインなど、多くのユニバーサルデザインがまちの中にあります。ぜひ皆さんも、ユニバーサルデザインを見つけてみてください。

次の問題へ

問題④ 家の中のユニバーサルデザイン

続いて、家の中です。

家の中でも、多くのものにユニバーサルデザインの考え方が反映されています。

以下のドアノブの中から、ユニバーサルデザインではないものを選んでください。

A.

持ち手が円形の
ドアノブ



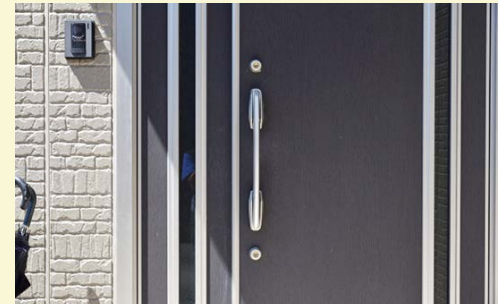
B.

持ち手がレバーに
なっているドアノブ



C.

持ち手が縦に長い
ハンドル型のドアノブ



A

B

C

問題④ 家の中のユニバーサルデザイン

正解は ... **A** 持ち手が円形のドアノブ

家の扉は、さまざまな形状がありますが、押す・引くという動作だけで開くことができるレバー式は持ち手が大きく、下に力を入れるだけで扉を開閉でき、握力の弱い子どもやお年寄り、荷物を持っている方も開けやすい形状になっています。



ドアノブを持つ→ひねる→押す(引く)という動作が必要で、握力が弱い人や左ききの人などには、使いづらい形状。



レバーを下げる→押す(引く)のみで開けられる。両手がふさがっていても、ひじなどで開けられるのでみんなにとって便利。



ハンドルを押す(引く)のみで開けられるため、みんなが使いやすい。

他にも、家電や浴室・トイレなど、家の中でもさまざまな工夫がされています。

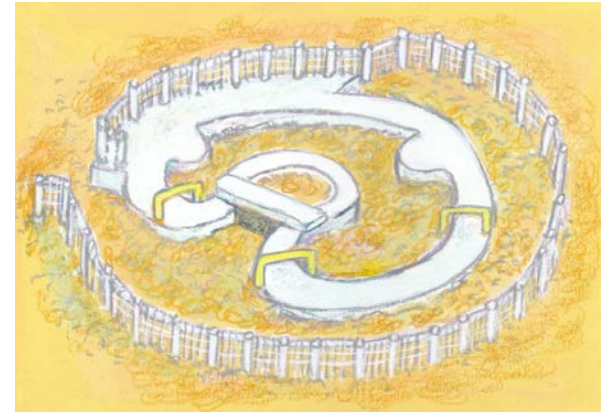
年齢や性別、障害の有無などに関わらず、できるだけ多くの人に利用しやすくすることが、ユニバーサルデザインの考え方なのです。

次の問題へ

問題⑤ 練馬区のユニバーサルデザイン

練馬区内にも、さまざまなユニバーサルデザインの工夫がされた施設や建物が多くあります。

豊玉北にある豊玉公園（通称タコ公園）をご存じですか？タコ公園の中にも、たくさんのユニバーサルデザインの工夫がされています。たとえば砂場は、誰にとって、どのような工夫がされているのでしょうか。合っているものを選んでください。



タコ公園の砂場

A. 車いすのまま、砂場に入ることができる

B. 視覚障害者が、において砂場だとわかるようになっている

C. 車いすに乗ったまま砂に触れるようになっている

A

B

C

問題⑤ 練馬区のユニバーサルデザイン

正解は ... **C** 車いすに乗ったまま砂に触れるようになっている

タコ公園のユニバーサルデザインの工夫



タコ公園の砂場は、さまざまな高さの砂場が用意されています。これは、車いすに乗った子どもも、ほかの子どもたちと一緒に砂場で遊べる配慮です。また、砂場の周りには車いすユーザーやベビーカー利用者などに便利な、広い通路もあります。

視覚障害のある方が、園路や縁石をたどって、園内を1周することができます。園路を横切る『細長い石』がベンチの場所を知らせる目印（足印）になっています。



次へ進む

問題⑤ 練馬区のユニバーサルデザイン

タコ公園のユニバーサルデザインの工夫



一番のシンボルとなっているタコのすべり台。
もともとは、階段に手すりがありませんでした。
もっと多くの人に楽しんでもらえるよう、改修工事の際に
手すりがつけられました。

公園の入り口には、案内板（触知板）を設置しています。
これは、公園の中がどのようなになっているか、見ても、触っ
ても確認できる地図です。タコ公園の案内板は、凹凸のある
面の描き方や、台の高さや角度、印刷する文字の大きさ
などにも配慮しています。



タコ公園を訪れた際には、ユニバーサルデザインの工夫にも目を向けてみてください。

次の問題へ

問題⑥ よりよいまちづくりに向けて

誰もが安心して暮らすことができるユニバーサルデザインのまちをつくるために、
皆さん自身が実践できる心のユニバーサルデザインで
間違っているものを選んでください。

A. 困っている人がいたら、お声がけをする

B. 身近なユニバーサルデザインに目を向けてみる

C. 困っている人に関心を持たず知らないふりをする

A

B

C

問題⑥ よりよいまちづくりに向けて

正解は ... **C** 困っている人に関心を持たず知らないふりをする

すぐにできる配慮①

お声がけをしましょう！



すぐにできる配慮として、お声がけがあります。困っている人を見かけたら、「何かお手伝いしましょうか？」と気軽にお声がけをしてみましょう。お手伝いの方法が分からなくても、まずは声をかけてみるのが大切です。

すぐにできる配慮②

身近なユニバーサルデザインに目を向けてみましょう！



まちや家の中で、どのような工夫がされているのか、意識して目を向けてみましょう。自分とは違う立場の人の視点で考えてみるのが、さまざまな人がともに暮らしやすいまちづくりの第1歩になります。

結果をみる

受講結果

練馬区 学ぼう！ユニバーサルデザイン STEP1

回答数	うち正答	正答率
6問	6問	100%

どうでしたか？間違えてしまった人は、ぜひ再挑戦してみてください！



おわる